

平成 20 年度再評価対象事業一覧表

(事業採択後、一定期間(5~10年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済 情勢等の変化	費用対効果 の要因の変化	コスト削減や代替案 等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業課案)	備考
	<p>一般県道 大詫間光法停車場線 地域自立・活性化 交付金事業</p> <p>事業主体：県 事業地：佐賀市 諸富町山領～ 北川副町光法</p>	<p>本路線は佐賀市 川副町大詫間と佐 賀市光法を結ぶ道 路であり、生活圏 中心都市と周辺市 町村を結び、交流 を支えるために必 要な道路である。 また、周辺の観 光地(佐野常民記 念館など)へのア クセス道路であ る。 現道は、幅員が 狭く、歩道も無い ことから、現道拡 幅及び自転車歩行 者道を整備するこ とにより交通の円 滑化と交通安全の 確保を図る。</p>	<p>全体事業費：16.2億円 工期：H7～H24</p> <p>事業内容 延長 L=730m 幅員 W=15.0(6.5)m</p> <p>改良工 L=730m 舗装工 L=730m 测试 1式 用地補償 1式</p>	<p>H19末進捗率：約67% (事業費ベース) (年平均進捗率 5%)</p> <p>用地補償は6割完了</p>	<p>交通量の増減 [H6] 6,526台/日 [H9] 8,120台/日 [H11] 6,712台/日 [H17] 7,175台/日 歩行者 2人/日 自転車 62台/日</p> <p>有明海沿岸道路の大川 西IC～大牟田IC間が供 用されれば、交通量の 増大が予想される。</p>	<p>事業採択時と比 較して、要因の大 きな変化は見ら れない。 B/C = 14.1</p>	<p>(コスト削減) ・再生資源の利用 促進を図ってい る。 ・工事で発生する 残土を盛土等に 流用する。 (代替案の検討) ・特になし</p>	<p>事業着手より 10年が経過</p>	<p>継続 (理由) 国道208号 との交差点の改 良が残っており、 危険な状況が解 消されていない ため、事業を継続 し交通の円滑化 を図る。</p>	

